

東京都戦没者追悼式



追悼のこぼれを述べる宇田川 会長



追悼のこぼれのみと献花をする廣瀬会長と細野士人

宇田川劔雄東京都遺族連合会会長の追悼のことば

本日ここに、都議会議長をはじめご来賓のご臨席を賜り、多くのご遺族の参列のもとに、東京都戦没者追悼式が執り行われるにあたり、東京都遺族連合会を代表して、謹んで追悼のことばを申し上げます。

戦後七十年の歳月が流れ、我が国そして私たちが決して忘れることのできない八月十五日を迎えました。

悲惨な戦争に終わりを告げ、我が国に平和が蘇ったこの日を迎えるたびに、国の行く末を思い、愛しい家族を案じつつ戦場に散り、戦火に倒れた御英霊の皆様の無念に思いを馳せ、遺族の苦難に満ちた往時を偲ぶとき、いまなお深い悲しみと哀惜の念尽きることがありません。

戦没者の御霊に衷心より哀悼の誠を捧げます。

顧みれば、戦没者遺族は一家の中心的存在であった肉親を失い、戦中戦後の混迷する社会経済のもとで、筆舌に尽くしがたい苦境に立たされましたが、御英霊の心を心として遺族同志力を合わせ、英霊の慰霊顕彰と戦没者遺族の生活再建、福祉増進のため、懸命の努力を重ねて今日まで歩んで参りました。

その道のりは決して兵站なものではありませんでしたが、戦没者遺族が生活を再建し、進んで社会道義の涵養と平和国家の建設に寄与することができましたのも、国はもとより、東京都並びに区市町村におかれて、戦没者と遺族に対する弔慰とあたたかいご支援によるものと感謝に堪えません。

戦後、我が国は、戦争への深い反省のもとに世界に誇れる平和国家としての道を一筋に歩みつづけ、経済的発展を遂げるとともに、国際社会においても枢要な役割を担っております。

これも、偏に国難に殉じ国家再興への礎となられた御英霊の平和への願いと精神が連綿と受け継がれているからであり、その尊い遺徳を私たちは決して忘れるものではありません。

本日の式典に臨み、私たちは「二度と戦争をしてはならない、我々のような遺族を出してはならない」との決意を新たに、戦争の史実と教訓を風化させることなく子々孫々にわたり伝承し、平和で希望に満ちた社会の増進に、たゆまぬ努力を重ねて参りますことをお誓い致します。

終わりに、戦没者の皆様のご冥福をお祈りし、ご遺族のご健勝とご多幸を祈念いたしまして追悼のことばと致します。

平成二十七年八月十五日

一般財団法人 東京都遺族連合会

会長 宇田川 劔雄